



茜の空

令和7年度 第 5 号

発行日 9月 3日(水)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

一隅を照らす

校長 木原 賢三

44日間の夏休みが終わり、校舎に生徒たちの元気な声が響き渡り、活気あふれる学校が戻ってきました。7月27日から2泊3日で行われた軽井沢イングリッシュキャンプでは、「Let's go to the English world! ～さあ 行こう! 次のステージへ!～」のスローガンのもと、英語にチャレンジすることを通して、英語を楽しむとともに、仲間とのコミュニケーションを深めて新しい世界を広げ、大きく成長することができました。「聴く」「話す」等のコミュニケーションの中で人間関係を深める上で、改めて「聴く」ということが、大切なことが実感できた行事となりました。3年生にとっては自分の進路と真剣に向き合い、ベストを尽くした夏であったとともに、部活動や海外派遣においても、本校の生徒の活躍と頑張りが発揮された夏休みでした。

さて、天台宗の開祖である最澄が残した言葉で、「一隅を照らす。これ則ち国宝なり」という言葉があります。この言葉は、片隅の誰も注目しないような物事にちゃんと取り組む人こそ尊い人だという意味です。誰もが注目するような表舞台で派手に活躍するばかりが尊いという訳ではなく、一人一人が自分のいる場所で一隅を照らしていくことこそ、私たち本来の役目であり、それが積み重なることで世の中が出来上がっていくということを表しています。学校では、多くの子どもたちが生活しています。一人一人の顔つきが違いうように、考え方や性格も違いますが、「自分の今いる場所で、自分の役割をしっかり果たす、そのことが学級全体、学校全体の輝きになる。」という経験は、ぜひ全ての子どもたちに積ませたいと考えています。生徒たちが将来、社会に出て自分の人生を切り拓いていく中で、平坦な道だけでなく、山あり谷ありの道があります。当然、挫折する経験も味わうことでしょう。その時に、「〇〇のせいでできなかった」「〇〇でなければできたのに…」というような言い訳をせず、その逆境をバネとしてたくましく生きてほしいと願っています。「一隅を照らす人になる」つまり、「自分自身が置かれたその場所で、役立つ人間になろう。」と精一杯努力することが、良き友を得、仲間と共感し、感動のある人生を創り出すことにつながるのだと思います。

いよいよ2学期がスタートし、学校生活が始まります。2学期は、修学旅行、職場体験をはじめ、合唱コンクールなど様々な学校行事が行われるとともに、自分と真剣に向き合い、「自分探し」に取り組む進路を考え、決める1年間の中で最も充実した学期となります。「一隅を照らす人」となり、石神井南中生として誇りと自信をもって学校生活をおくり、石神井南中プライドを輝かすことができるようにしてほしいと願っています。



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

文部科学省が毎年4月に全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施している調査で、今年度は4月15日に理科、17日に国語と数学の調査、および学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査が実施されました。

本校の調査結果は国語、数学は、ともに東京都の平均正答率と同等の数値でした。

国語では、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」での正答率が高かった反面、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の問題では都の平均正答率より低く課題が見られました。

数学では、「数と式」の領域での正答率が高く、基礎的な知識・技能の定着が図られていることが見て取れます。その反面、「関数」「データの活用」の領域では都の平均正答率より低く課題が見られました。

理科に関しては、都や全国の平均値より高い平均スコアでした。特に「エネルギー」を柱とする領域、と「粒子」を柱とする領域での正答率が高いという結果でしたが、記述式の設問では正答率が著しく低いものもありました。

また、質問調査では、以下の設問に対する回答で、本校生徒の学校生活への取組の様子が表れていました。

	肯定的回答	
(設問42)学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	本 校	81.2%
	東京都	77.3%
	全 国	77.3%
(設問43)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	本 校	93.7%
	東京都	92.9%
	全 国	91.5%

国語・数学の平均正答率(%)

教 科	本 校	東京都	全 国
国 語	5 7	5 7	54.3
数 学	5 3	5 3	48.3

理科の平均IRTスコア*

本 校	東京都	全 国
515	506	503

*IRTスコアとは

今年度の「中学校理科」の結果は、IRTに基づくスコア(IRTスコア)で示されます。IRTとは、児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定精度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。「異なる問題からなるテストの結果を互いに比較することができる」「異なる集団で得られたテストの結果を互いに比較することができる」というメリットがあります。

表彰 ～石南中生の活躍～

◆吹奏楽部 第65回 東京都中学校吹奏楽コンクール

B組 銀賞



スクールカウンセラー変更のお知らせ

1学期まで勤務いただいていた ○ ○ ○ カウンセラーが、7月いっぱいまで退職となりました。9月より新たに ○ ○ ○ カウンセラーが配置されました。

勤務日は原則、毎週月曜日となり、これまでとは曜日が変更となります。どうぞよろしくお願いいたします。

第2学年 理科の授業担当について

非常勤講師の○○先生が担当する第2学年の理科の授業(木曜日、金曜日)については、9月からTT(ティーム・ティーチング)を実施します。○○先生に加えて、○○主任教諭(木曜)、○○教諭(金曜)が授業担当として、ともに指導に当たります。